

会社探訪

ユニックス（熊本県菊池市、笠田政輝社長）は、通常で月間45〜50棟（1棟100坪平均）を供給する2×4コンポジット会社。そのほとんどがパネル生産となっており、九州、山口の大東建託向けアパート躯体供給の主力工場でもある。同社の特徴は徹底した生産効率の向上による競争力の高さであり、ここ数年はランバターの最適木取り、カットスピード、3次元カット、2×4CADとの連動などについて様々な機械、ソフトを試行錯誤してきた。

同社が現在のような生産工程ノウハウを形にしたのは平成2年ごろ。デイトマー・オプティから。その後、人海戦カット100を、今年術が主だったころから5月にはフンデガー。「加工、納材ミスを起こさなため生産工程（ネットイーグル）を独自に研究・工夫」導入し、現在はパネル（同社）してきたこと3ラインで最大能力が等が評価され、受注量 月間7000坪。が年々増加。その独自 同社はパネル供給を

生産効率改善に終わりなく

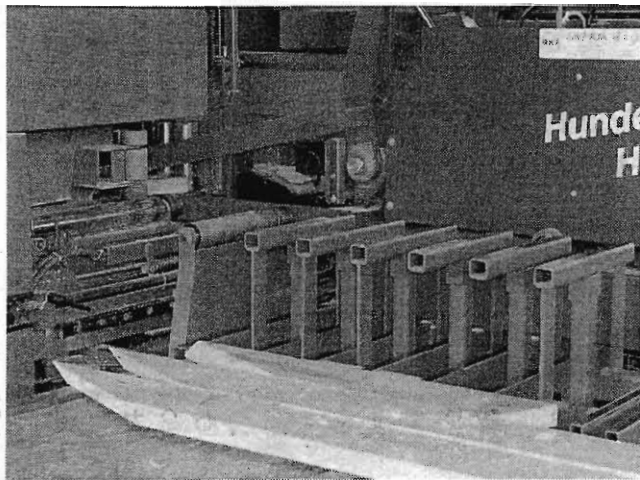
ユニックス(熊本)

2×4構造の将来性に期待

基本とするため、オペレーターとともに、運動する送り出しコンベアと自動選別用キック

基本とするため、オペレーターが自動仕分けされる、そのままパネラインに流れる仕組み。パネルを在庫するラックは現在350を用意するが、量産体制が強化されたことで最盛期に向けて100ラックを追加する予定。資材、パネラストック用の土地買い増しも検討する。

今年5月連休にはフンデガー社の羽柄加工機H2を導入。3次元加工ができるようになることも、同時に導入した2×4CADが大東建託と運動していることで、流れてくる凶面の電子データをそのまま加工機械に流せるようになった。現在同社では3台の同CADが稼働しているが「これだけでもかなりの生産効率向上につながっている」（笠田社



ユニックスが導入した「H2」の3次元カット

（長）とのこと。現在、配送、事務まで含めて従業員数は65人。笠田社長は「2×4は将来性のあるもの、駄のない木取り、カットスピード、また墨付

ランバターの供給には不安もあり、例えば縦枠の部分だけでも杉が使えるようになるのではないか」と話す。ともかく考えだ。

雪国の耐震改修工法紹介

新潟県 簡便で安価な14工法

新潟県はこのほど、「雪国の実情に合った木造住宅の耐震改修工法」として、14工法を公表した。昨年度、木造住宅を対象に簡便で安価な耐震改修工法の提案を県内外から募集したところ、46件の応募があり、公的機関の認定・評価等を基準に14件を選定して紹介するもの。推奨や補強効果の保証は行っていない。

公表している14工法 ・面材タイプIIタケモノット、かべつよし（エは次のとおり。各工法 ル木造ネット工法（全イム） グラスロック耐

ムウエル、ハードロックII（トステムホームウエル）コボット・ステンプレースシステム（国元商会）鋼製筋かいはめ込みパネラ（野島木材）▽耐力壁、開口付壁・開口上下壁補強タイプII耐震補強三角火打金物耐力壁工法（オキナヤ）▽耐力壁、開口付壁・開口部周辺の補強タイプII耐震開口フレーム、JBR A-1システム（製造販売・

境・社会報告書2006 イジェスト版発刊

YKK AP

KAP 環境・社会報告書「イジェスト」を発売した。環境・社会報告書は05年度から発行している。「事業」「環境」「社会」の3点を切り口に、株主への情報開示を行うのを目的としている。今年、より多くの

（イメタル）▽浮き上がり防止補強材II ARS工法（フクビ化学工業）▽その他制震工法II GHハイブリッド制震工法（江戸川木材工業）